

ヌルデ

【*Rhus javanica v. chinensis*】

科名	ウルシ科		
属名	ヌルデ属		
薬効・用途	虫こぶ（五倍子）を収斂、止血、止瀉、解毒薬とし、タンニン酸、没食子酸、ピロガロールの製造原料とする。タンニンは、染料、皮なめし、インク製造原料など用途が広い。大腸力タル、咽喉力タル、湿疹、凍傷、火傷、下痢、外傷出血などに用いられる。		
備考	落葉小高木。東南アジアから東アジア各地に自生する。和名は、幹を傷つけると浸み出す白色の樹液を、ウルシなどのように器具に塗ったことから「塗る手」となったという。雌雄異株。		